

## Winebar 葵 4月末イベント 「新入荷の日本ワイン特集」

4月23日～27日

### Terre de ciel(テール・ド・シエル)長野県小諸市

フランス語で「天空の大地」という意味を持つワイナリー(畑の標高平均 930メートル)。代表の池田岳雄さんがワイン造りを還暦後の第 2 の人生と決意し、学び、創業。栽培はココファームで長年経験を積んだ栗原一斗さんが勤めています。

「テロワール(=「気候」、「土壌」、「人」)を映し出すワイン、Terre de ciel のワインを飲んでいただいた時、葡萄の育った土地を見に行きたいと思っていただけのワイン造りを目指し、現在、日本ワインで最も注目されているワイナリーの一つです。



Grass ¥2,100～ Half ¥1,300～

### ド・モンティエユ&北海道 北海道函館市



ドメーヌ・ド・モンティエユ (Domaine de Montille)は、ブルゴーニュで 300 年の歴史を持つトップ生産者。2016 年「ド・モンティエユ&北海道」を設立。「仏の老舗が北海道に拠点を構えた」として日本ワイン業界で話題と注目を集めました。

現状は余市の買いブドウから醸造、2023 年からは自社葡萄園でのリリースを予定しています。

過去に 1 度、ツヴァイゲルトを飲んだ事があるのですが、かなり美味しかった事を鮮明に記憶しています。これまでの日本のツヴァイゲルトとも、オーストリアや他の国の

物とも違う個性を高いレベルで表現している、驚かされたワインでした。

今回、ご紹介できることが楽しみではない蔵元です。

Grass ¥2,500～ Half ¥1,300～

### Votano Wine(ヴォータノワイン) 長野県塩尻市

2012年に坪田氏が設立したワイナリーです。ワイナリー名は本人の名字から。50歳を過ぎての就農。

畑は塩尻市の洗馬に位置し、ブドウ栽培では定評のある地域です。

当店でのご紹介は初。なぜか飲む機会がなかったのですが、先日とある試飲会で試飲。

非常に印象に残った 1 本で、日本ワインの可能性を確信する機会になりました。個人的には、塩尻は中期熟成でポテンシャルが開花するワインが生産できるように思います。

このワインもその一つ。日本ワインの熟成に対する可能性をお試しく下さい。



Grass ¥2,000～ Half ¥1,200～